

ばんどう 政策特集 2024

令和6年8月1日発行

BANDO

坂東の今が
わかる!

政策分野ごとに
市の取り組みを
お知らせします

◎こども政策 ◎仕事政策
◎暮らし政策 ◎高齢者・障がい者政策





PA関連事業の推進

坂東PAハイウェイ・オアシスは、東日本高速道路株式会社関東支社が整備を進める**坂東パーキングエリア**と、市が整備を進める**都市公園**を一体とするもので、高速道路と一般道路の**両側からの利用が可能となります**。

当施設は、訪れた人に快適な**休憩施設**と緑あふれる自然環境をいかした**憩いの場**であるとともに、台地で安全な地形をいかした**広域的な防災拠点**、市の魅力を発信する**観光拠点**、新たな賑わいを創出させる**地域連携拠点**となることを目指しています。

現在、先行整備で計画している売店について、売店設置運営事業者に決定した**株式会社ローソン**と今後の連携方法等、施設整備に向けた協議を行いながら、連携し工事に着手しています。

今後、売店を含む公園の一部について、**年内オープン**を目標に整備を進めていきます。



県内初・圏央道初!! 坂東PA ハイウェイ・オアシス を整備しています



坂東PA(内回り) ※令和6年4月23日(火) オープン



売店施設イメージ(整備中)



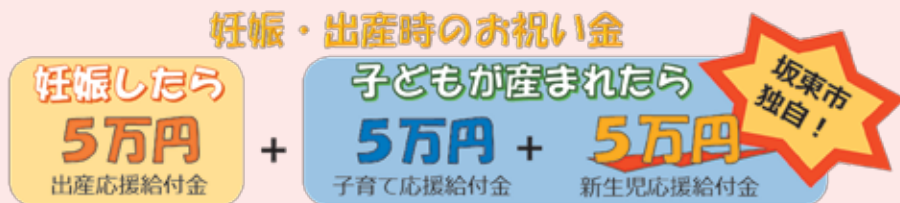
ハイウェイ・オアシス整備イメージ

妊娠・出産・子育て支援事業

安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくりのため、子どもとその保護者を対象にしたサポートや親同士の交流の場の提供、お祝い金の支給などの事業を行っています。また、「こども家庭センター」を設置し、妊娠、出産、子育て期まで切れ目のない「寄り添い支援」を実施し、子育てに関するお悩みに対応しています。



針替さん親子



3月に子どもが生まれ、2か月児相談も兼ねてひよこサロンに参加しました。同じ月齢の子が集まっているので、親子の交流や相談ができてよかったです。市からは子どもが生まれた時に給付金もいただいたので、おむつや身の回りの物の購入に使いました。一人目の子どもなので何かと必要なものが多く、とても助かります。坂東市は子育てサービスが充実していると思います。

坂東市独自の英語教育



市では、教育課程特例措置の申請を行い、小学校1、2年生から英語活動を導入しています。小・中学校の9年間を通じた切れ目のない英語教育により、発達段階に応じながらコミュニケーション能力の育成を図っています。

英語であいさつをしたりゲームをしたり、とても楽しいよ！

ALTの先生と英語で会話が通じるとうれしい！



給食費の負担軽減

物価高騰が続くなか、児童・生徒を養育している保護者の経済的負担軽減を図るため、臨時的措置として、**学校給食費を半額**にして子育て世帯への支援を行っています。さらに、第3子以降については、給食費の**全額助成**をあわせて行っています。



こんな事業にも取り組んでいます／

- すこやか医療費助成事業（18歳到達年度末まで）
- 病後児保育・体調不良児保育
- 就学援助制度による学用品、給食費等の援助
- 美味しい給食の提供
- 中学生イングリッシュキャンプの実施
- ICTを活用した学びの充実
- 放課後児童クラブの充実
- コミュニティ・スクールの導入
- 教育支援センターの拡充
- 坂東清風高等学校生徒への資格等取得支援

等

こども政策

誰一人取り残さない持続可能

新規就農者の支援

市の基幹産業である農業就農者への支援のため、新しく農業を始める方に、経営が安定するまで最長3年間、年間最大150万円を国の補助金を利用して給付しています。



田村さん

これまでの実績

令和3年度	農業次世代人材投資資金	150万円 × 4名
令和4年度	新規就農者育成総合対策 経営開始資金	150万円 × 1名
令和5年度	新規就農者育成総合対策 経営開始資金	150万円 × 3名

もともと会社員をしていましたが、脱サラして起業したいと思い、農業を始めました。イチゴを専門に栽培しており、3月から9月頃まで苗づくりをして、12月から5月にかけて収穫をしています。

農業は大変なことも多いですが、経営が安定するまで補助金をいただけるので助かっています。今後は面積を拡大して加工品の製造、販売にも取り組み、6次産業化していきたいと考えています。

工業団地の整備と企業誘致の推進

地元就業の場と安定した財源を確保するため、工業系地区計画を策定し、茨城県を事業主体とした新たな工業団地（フロンティアパーク坂東）の開発を行い、優良企業の誘致に努めています。

また、企業誘致を雇用につなげるため、「企業説明会」の開催などに取り組んでいます。

*令和6年4月1日現在の雇用者数

つくばハイテクパークいわい	2,604名(市内623名)
坂東インター工業団地	1,150名(市内229名)



『フロンティアパーク坂東』完成イメージ図

(坂東市山地区)

産業経済交流施設の整備

下総利根大橋料金所管理事務所跡地に、農産物直売所、観光情報ブース、サイクルステーションなどの複合施設を整備することにより、市内外から人を呼び込み、地域の活性化や賑わいづくりを促進します。



産業経済交流施設 イメージパース

こんな事業にも取り組んでいます／

- 神大実地区地区計画区域の工業的土地利用の促進
- 坂東インターチェンジ周辺の有効な土地利用の促進
- 坂東インターチェンジアクセス・関連道路の整備
- 芽吹大橋4車線化の要望活動
- 東京直結鉄道(地下鉄8号線)の誘致促進
- 地元製品のトップセールス

等

坂東市の未来

仕事政策

通学路・生活道路の整備

安全・安心な日常生活を支える生活基盤づくりを推進するため、国の交付金などを活用し、通学路・生活道路などを優先しながら道路の新設・改良工事を行っています。



暮らし政策



なまちづくりを進めています

移住・定住の促進

定住人口の増加と地域活性化のため、市外から坂東市に移住された方などに対し、さまざまな支援を行っています。

主な支援事業

- 結婚新生活支援補助金
- 子育て世代定住促進奨励金
- 工業団地人材確保移住奨励金(令和5年度開始)
- 奨学金返還支援補助金(令和6年度開始)等

これまでの実績

	令和4年度	令和5年度
結婚新生活支援補助金	8件	16件
子育て世代定住促進奨励金	21件	32件
工業団地人材確保移住奨励金	未実施	9件

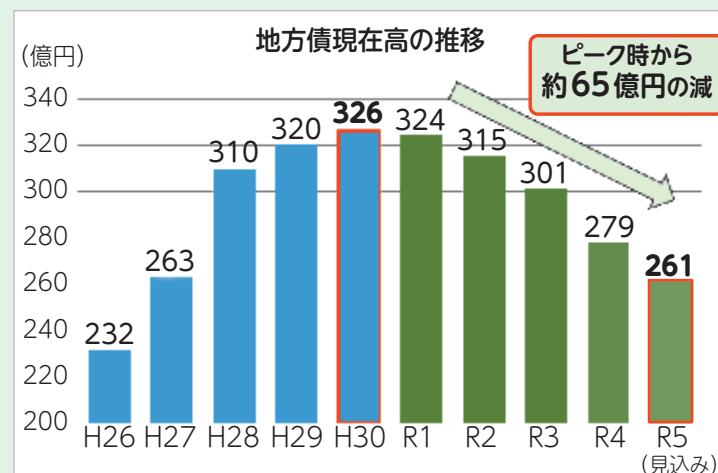


竹下さんご夫婦

昨年結婚し、実家のある坂東市で暮らしていこうと思っていたところ、「結婚新生活支援補助金」のことを知りました。いつかは家が欲しいと考えていましたが、この補助金があるならば、思い切ってマイホームを新築しました。スーパーも近く、デマンドタクシーなどの公共交通も充実しているので、不自由なく生活しています。これからも夫婦仲良くのんびりと暮らしていきたいです。

財政健全化に向けた取り組み

事業の選択と集中を図り、徹底した歳出の見直しや適正化に努めています。また、ふるさと納税やネーミングライツ事業*の活用により、新たな財源の確保に努めています。



ネーミングライツ・スポンサー及び愛称決定箇所

正式名称	愛称	スポンサー
坂東市総合体育館	坂東市LIXIL(リクシル)総合体育館	株式会社LIXIL
坂東市立岩井公民館	坂東市立岩井公民館風の砦(とりで)	前山倉庫株式会社
前山公園	坂東市逆井前山公園	
坂東市猿島武道館	坂東市猿島前山記念武道館	
坂東インターあさひヶ丘公園	坂東インター前山公園	
猿島球場	坂東市立ポニーリーグ猿島球場	一般社団法人日本ポニーベースボール協会

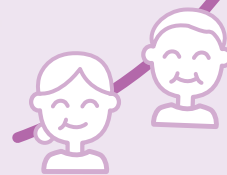
*市の施設名に企業名等の愛称を付ける権利を事業者に与え、代わりに事業者から命名権料を得る事業。

こんな事業にも取り組んでいます

- 災害情報の発信力強化・災害防災協定の締結
- 市民協働によるまちづくりの推進
- 計画的な道路整備と橋りょうの点検・修繕
- ヤード(自動車解体施設)などの土地利用の適正化
- 公共交通(バス、デマンドタクシー)の充実
- 坂東消防署の移転整備の促進
- 公有財産(施設・土地)管理の適正化
- 空き家等への対策
- 地籍調査事業の推進
- 歴史遺産・史跡等の整備活用
- 等

来を つなぐ

高齢者・障がい者政策



公共交通利用券事業

高齢者や障がい者、運転免許証の自主返納者の外出を支援するため、申請により市内公共交通機関の利用券を1万5千円分交付しています。

対象となる方

- ひとり暮らし高齢者
- 交通手段を持たない75歳以上の方のみ世帯
- 障がい者※
- 運転免許証を返納した65歳以上の方(1回のみ)

※身体障害者手帳1級・2級・1種3級、療育手帳(A)・A、精神障害者保健福祉手帳1級・2級をお持ちの方

対象となる公共交通機関



BS(ばんどウシニア)カレッジの開催

多様化・高度化する学習活動やニーズに対応するため、市内在住の60歳以上の方を対象とした講座を開催し、生涯学習活動の促進を図っています。



関根さん

BSカレッジには2年前から参加しており、今年で3年目になります。

座学をはじめ、移動学習、体験学習を通し、福祉、スポーツ、健康などさまざまな分野について学ぶことができ、とても勉強になります。また、新しい友人も増え、一緒に学ぶことでパワーをもらえ、人生の宝になっています。

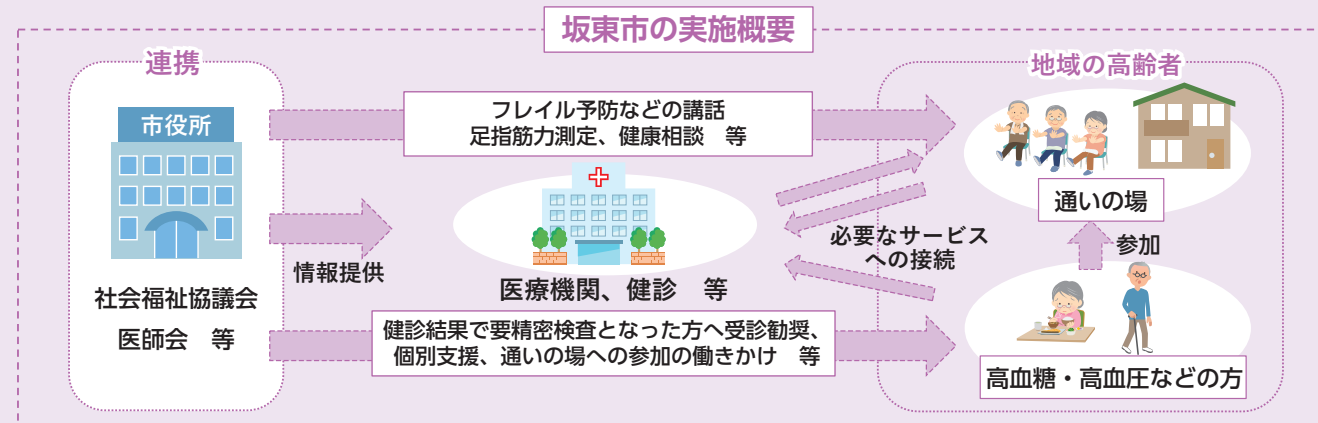


講義の様子

高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業

健康寿命を延ばし、住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らせるよう、健診や健康相談などの「保健事業」と、フレイル状態(虚弱な状態)を防ぐための「介護予防」を、市と地域の関係団体・医療機関等が連携し、一体的に行います。

令和6年度の取組：フレイル予防(転倒予防)、糖尿病性腎症重症化予防 等



こんな事業にも取り組んでいます

- 岩井保健センターのバリアフリー化
- 企業等との見守り協定の締結
- 高齢者福祉事業
- 地域包括支援センター運営事業
- 生活支援体制整備事業
- 認知症初期集中支援推進事業
- 子ども発達センター運営事業
- 障がい者福祉増進事業
- 等

合併20周年記念事業



坂東市は、平成17年3月22日に岩井市と猿島町の合併により誕生し、令和7年3月22日に合併20周年を迎えることから、記念事業を実施しています。

主な事業 ※この他にもさまざまな記念事業の実施を予定しています。

合併20周年記念式典

合併20周年の節目を祝う式典を開催し、市政の発展に貢献された方々への表彰や講演会等を行います。
と き：10月26日(土) ところ：市民音楽ホール

テレビ番組の放映

合併20周年を記念してNHK Eテレのテレビ番組「ニャンちゅうの宇宙に夢チュー!」の公開収録を行います。
と き：12月7日(土) ところ：市民音楽ホール



平将門公関連事業

坂東市の英雄「平将門公」とその歴史を市民の皆さんとともに未来に継承していくため、「将門まつり」「将門ハーフマラソン大会」での特別企画、市民歴史講座等を行います。



合併20周年記念給食

合併20周年の思い出づくりと食育の充実を図るため、小中学生の皆さんから献立を募集しました。応募のあった中から選ばれた特別な給食を提供します。



地域の記念事業への支援

市内各地域にお住まいの市民の皆さんとともに合併20周年をお祝いするため、各公民館分館が提案し、実施する記念事業に補助金を交付します。



フォトスポットの設置

大切な思い出を残すため、自由に記念撮影ができる合併20周年記念フォトスポットを坂東市役所とさしま窓口センターに設置しています。
※イベント等で使用中はご利用できない場合もございます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは

2015年9月の国連サミットで採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた、2030年を年限とする17の国際目標です。

ごあいさつ

坂東市では、「みんなで作る やすらぎと生きがい 賑(にぎ)わいのある都市(まち) 坂東」の実現に向け、次世代への負担軽減を図りながら、子ども・高齢者・障がい者・仕事・暮らしなどの施策に全力で取り組んでいるところです。

今年度の坂東市の政策としましては、物価高騰や長引く円安等の影響を受けている市民の皆様や各種事業者の方々に、引き続き支援を継続するとともに、圏央道関連事業としまして、本年4月にオープンした坂東パーキングエリアと都市公園を連結し、「ハイウェイ・オアシス」として地域活性化のための拠点としての整備を進めていきます。また、今年度は坂東市が誕生して20周年を迎えることから、この節目を市民の皆様とお祝いするとともに、坂東市の明るい未来を展望し、更なる飛躍の契機とするため、様々な記念事業を展開していきます。

今回発行する『ばんどう政策特集2024』では、これまで市が取り組んできた重要な事業や新しい事業などをご紹介します。事業の内容や利用者の声をお知らせすることで、多くの皆様にご理解・ご活用いただきたいと考えております。

引き続き、SDGsの概念に掲げる「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向け、市民の皆様の思いや願いに寄り添いながら、市政運営に誠心誠意努めてまいります。

令和6年8月 坂東市長 木村 敏文



★本紙に記載した内容は各事業の概要になります。詳細については市ホームページや広報紙等でご確認ください。



発行／坂東市 編集／政策調査課

〒306-0692 茨城県坂東市岩井4365番地 ☎0297 (35) 2121 / 0280 (88) 0111

ホームページアドレス <https://www.city.bando.lg.jp/>



坂東市
ホームページ